



学校長だより

No. 9 (平成30年1月29日)

正月や 梅のかはりの 大吹雪



新年を迎え、めでたい気分も落ち着いたと思えば、早くも1月が終わろうとしています。今年の正月はとにかく寒かった！特に最近の強力な寒波の到来に日本列島が震え上がっています。また、インフルエンザの罹患者が急増し、いよいよ流行のピークを迎えています。今年はB型が多いとか。寒がりな自分にはとてもつらい季節ですが、「冬来たりなば春遠からじ」この厳しい冬があるからこそ、春の訪れに幸せを感じることができるというものです。とはいえ、一刻も早い春の訪れが待ち遠しくなりますね。

さて、3学期が始まっています。高等部3年生は今学期60日足らずで卒業です。1月が終わりますから実質あと36日です。今年は世界的なイベントである冬季オリンピックがありますから、その余韻が治まるころには、卒業式本番を迎えていることでしょう。

それでは皆様、大変遅くなりましたが「今年もどうかよろしく願いいたします。」そして、最後の3学期のゴールをめざして、精一杯がんばってまいります。

全国に追いつけ！追い越せ！



年度末を迎え、全国各地の特別支援学校のうち、国や都道府県から研究指定を受けた学校が成果発表会を開催するのがこの時期です。この発表会に本分校の先生方を派遣し、最新の情報を得るとともに、取組に対しどのような研究成果があったのか、本県の教育内容との違いは何かなど、全国的情勢の把握に努めています。特に新しい学習指導要領への移行期にある今、指定を受けている学校は新学習指導要領を踏まえた研究テーマで取り組んでおり、その内容について学ぶことは、非常に大きな意味があります。そして、高知若草本・分校が全国に成果を発信する日もそう遠くはないでしょう。

そして、重要な派遣がもう一つ、熊本地震で避難所となった特別支援学校への視察です。本校教頭と事務職員の2名を派遣し、当時の状況をつぶさに聴き取りをしてもらいました。想像を超える目の前の現実にかに冷静かつ柔軟に対応するかが大切であるという報告に、身が引き締まる思いでした。

生徒も先生も頑張ってます Part 2 !

うれしい報告は今年もさらに続きます。

<生徒>

「第50回手紙作文コンクール、はがき作文部門」

学 校	学 部	学 年	内 容
高知若草本校	高等部	3 年	銅 賞

日本郵便主催の歴史あるコンクールで、全国から1,700を超える高校生の応募があった中から、見事第5席にあたる「銅賞」に選出されました。お見事！

<教職員>

国立高知病院分校の片岡貴美教諭が、文部科学大臣表彰を受賞いたしました。教育実践に真摯に取り組み、専門性を生かした学部運営の手腕を高く評価されての受賞となりました。おめでとうございます。

ちなみに、昨年度は本校の原教諭が受賞していますから、若草で2年連続の受賞となりました。

【お詫び】

前回8号で勤続表彰を受けられた教職員の名前に間違いがありました。申し訳ありません。

【誤】藤本里香（若草本校） 【正】藤本理香（若草本校）



P D C A サイクルとロケットスタート！

新年始まったばかりですが、平成29年度のゴールはどんどん近づいてきています。児童生徒の皆さんの頑張りが学習、文化、芸術、スポーツたくさんの成果となって表れた1、2学期ですが、3学期は1年のまとめを行うとともに、次年度に向けての準備を進めるとても大切な期間です。学校では1年間の取組をP

（計画）D（実践）C（評価）A（改善）サイクルで振り返ることがシステム化されており、かつてCMで流行した「反省するなら〇〇でも・・・」なんてことはありません。そして今、どの学校においても、C

（評価）A（改善）の真っ最中で、保護者の皆様からいただいた学校評価アンケートのご意見は、とても重要な指標となっています。1月31日（水）には、高知県教育委員会田村教育長さんの学校訪問があり、実践に対する評価と次年度に向けた取組について、ご報告と協議を行うことになっています。さらに、2月には「開かれた学校づくり推進委員会」において、外部委員の方にお越しいただき、今年度の取組を評価していただくなど、いろいろな視点からご意見をいただきます。こうした振り返りを丁寧に行うことにより、いくつかの改善点を見だし、できるものについては今年度中にでも実行し、来る平成30年度にロケットスタートができるよう、しっかりと準備を行ってまいります。

